

健康教育活動

年報・機関紙の発行

- ・「東京都予防医学協会年報」2011年版(平成21年度活動報告)・通巻第40号(A4判240ページ:2,000部)を発行した。
- ・月刊機関紙「よぼう医学」(タブロイド判 4ページ:10,000部)を11回発行した。

「よぼう医学」 発行月	主 な 内 容
4月	新たな国民病CKD(慢性腎臓病), 特定健診・保健指導制度の現状と今後の生活習慣病対策のあり方, より質の高い学校検診のために腎臓・糖尿病検診, 心臓検診の打ち合わせ会を開催・本会, 第15回健康づくり懇話会例会が開催
5月	子どもの喫煙防止対策, 第230回学校保健セミナーから「メタボにならずにより良く生きてゆくために—小児期からの対応」, 新連載「健康づくり・健康増進を支援するページ 元気でいきいきシリーズ」, 第230回ヘルスケア研修会「拡がる職場不適合2」
6月	食育基本法と食育の今, 職場におけるアルコール依存症—第231回ヘルスケア研修会, 健康応援フェスタ「骨粗しょう症とロコモティブシンドローム」テーマに, 歯の衛生週間6月4~10日
7月	企業におけるうつ病対策—第83回日本産業衛生学会より, ちょっと待った!肉の生食—カンピロバクター食中毒予防, 新連載「歯の喪失は予防できる—人生の最後までおせんべいをバリバリと」, 女性と子どもをたばこの害から守ろう—世界禁煙デー記念シンポジウム
9月	受診率をいかに上げるか—第18回日本がん検診・診断学会総会, 東京都のがん対策の現状, 健診・人間ドックにおける眼科検診項目の意義と限界—第232回ヘルスケア研修会, 「東京都予防医学協会賞」PKU親の会で表彰
10月	糖尿病対策に新展開—第51回日本人間ドック学会より, 実践と研究が織りなす「栄養学」の構築と発展を目指して—第57回日本栄養改善学会学術集会在開催, メンタルヘルスと職場環境—産業保健フォーラムIN TOKYO 2010
11月	乳がん死を減らそう—ピンクリボンin 東京2010, 第57回日本小児保健学会が開催, 首都圏の自殺対策など現場での取り組みを講演, がん検診50%推進全国大会とリレー・フォー・ライフ東京が同時開催, 「侮れない脂肪肝, 放置していませんか?」第233回ヘルスケア研修会
12月	科学的根拠に基づいた公衆衛生政策—第69回日本公衆衛生学会総会より, 特集・糖尿病診断基準見直しを受けたこれからの糖尿病診断・治療のあり方, 成功する健康診断事後指導—第19回健康づくり懇話会総会
1月	年頭所感, 動機づけ面接法 禁煙する気のない人への支援スキル—第234回ヘルスケア研修会より, 適切な評価を目指して—特定保健指導研修会(評価)を開催・中央会, 「産業安全運動100年記念事業」が始動
2月	今, 求められる新型インフルエンザ対策—第231回学校保健セミナー, 新連載「PKUの生涯治療 食事療法の重要性」, 犯罪からの子どもの安全シンポジウム「子どもたちを虐待からまもる」
3月	がんを遠ざげる生活習慣—第235回ヘルスケア研修会, 総合健診の未来を考える—日本総合健診医学会第39回大会が開催, 平成22年度予防医学事業中央会医師協議会が開催

記事の内容は本会ホームページ(<http://www.yobouigaku-tokyo.or.jp>)に掲載しています。

研修会・研究会の開催

健康管理コンサルタントセンターと本会の共催によるヘルスケア研修会を下記のテーマで開催した。

開催日	回	テーマ	講師
2010年5月12日	第231回	職場におけるアルコール依存症—予防と対策	樋口 進(久里浜アルコール症センター副院長)
2010年7月14日	第232回	健診・人間ドックにおける眼科検診項目の意義と限界	中野 匡(東京慈恵会医科大学眼科学講師)
2010年9月29日	第233回	「侮れない脂肪肝, 放置していませんか？」	加藤 眞三(慶應義塾大学看護医療学部教授)
2010年11月4日	第234回	動機づけ面接法—禁煙する気のない人への支援スキル	加濃 正人(新中川病院禁煙外来医師)
2011年1月26日	第235回	がんを遠ざける生活習慣—最新の知見に基づいた保健指導のために	津金 昌一郎 (国立がん研究センター がん予防・検診研究センター予防研究部長)
2011年3月23日	第236回	拡がる職場不応3 ※東日本大震災の影響のため中止	松崎 一葉(筑波大学大学院教授)

企業・健康保険組合の健康管理担当者を中心に構成している「健康づくり懇話会」の事務局を引き受け、下記のテーマで開催した。

開催日		テーマ	講師
2010年10月15日	総会	成功する健康診断事後指導	木田 哲二(労働衛生コンサルタント事務所プライム代表)
2011年2月21日	例会	職場の健康づくり対策と健診データの活用	須賀 万智(東京慈恵会医科大学准教授)
		職場の健康づくり—個別と集団へのアプローチ, フォローアップの実際から	櫻田 陽子(本会健康増進部保健師)